

最近、有名人の覚せい剤使用によるスキャンダルや、カジノを含む統合型リゾート施設(IR)整備推進法制定の是非をめぐる、依存症に対する関心が高まっているように思います。

そこで今号は依存症関連の内容についてとりあげます。

アディクション(嗜癖)=依存症とは…

アディクション(嗜癖)とは、「身体に悪いとわかっていても止められない、さまざまな物質や行為への耽溺」を意味します。状態によっては依存症という診断がつく場合もあります。物質の嗜癖である「薬物依存」や「アルコール依存」、行為の嗜癖である「ギャンブル依存」や「買い物依存」などに分類されますが、その背景や進行過程には、共通するものが多くあります。特徴として、脳の変化による「とりつかれる」「はまる」ものであり、進行していく過程において「心身の不安定、日常生活や人間関係の破たん」を招きます。主に以下のような特徴があるとされています。

- ・慢性進行性の行動障がい(適切な範囲をはるかに超えている)
- ・身近な家族や他者をまきこむ
- ・気分を劇的に変化させる作用にはまってい
- ・背景に空虚さがある
- ・問題を否認する言動がある
- ・再発を繰り返しながらも、回復する可能性がある



回復する可能性がある病気ですが、周囲の対応が回復を左右するとも言われています。依存症にまつわる問題で困ったときは、お気軽に以下までご相談ください。

ひきこもり・依存症専門電話相談

TEL059-253-7826

毎週水曜日 午後1時～午後4時(祝日・年末年始を除く)

ギャンブル依存について

こころの健康センターの依存症専門電話相談の中で最も多いのが、ギャンブル依存に関する相談です。平成27年度は、依存症関連の相談154件中56件(=36%)を、ギャンブル依存の相談が占めていました。

冒頭にもありますが、平成28年12月、カジノを含む統合型リゾート施設(IR)整備推進法案が国会で可決されました。同法の成立によって、ギャンブル依存症患者の増加や青少年に及ぼす悪影響が懸念されていますが、日本では以前からパチンコや公営ギャンブルが認められており、厚労省研究班が2013年に行った調査では、推計536万人にギャンブル依存症の疑いがあると報告されています。あくまで推計値ですが、人口換算すれば三重県内にも7~8万人のハイリスク層が存在することになります。

ギャンブル依存症は、他の依存症と同様に、ギャンブルへの強迫的なとらわれ、渴望、コントロールの喪失を引き起こします。そして、多くの方が心理的、社会的な問題として、罪悪感、自己嫌悪、自己憐憫、自尊心の低下、孤独、恥と嘘、生きがいの喪失、身体を病む、家庭生活の破壊、経済的に行き詰まる、といったトラブルを抱え込み、病気を進行させていきます。

ギャンブル依存症の場合、どうしても借金問題や経済的な行き詰まりから相談につながることも多いのですが、借金問題の対応を優先してしまうと、結局ギャンブルを繰り返すことになってしまいます。

本人自身の止めたくても止められない心理状態を理解したうえで、依存症の治療を検討することが大切です。



アルコール健康障害対策推進計画について

平成 26 年 6 月に施行されたアルコール健康障害対策基本法に基づき、アルコール健康障害の防止や早期発見、相談・治療機関の整備、充実を図るための施策を定め、これを総合的に推進するため、「三重県アルコール健康障害対策推進計画」を策定することとしています。

平成 28 年 1 月現在、中間案まで策定済みですので、よろしければ[ホームページ](#)をご覧ください。



<ご案内> センターでは以下の講演会・研修会を予定しています。
詳細は[センターホームページ](#)をご覧ください。

依存症に関する講演会

「当事者を中心とした依存症治療・回復支援」

講師 埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬暢也 氏（精神科医）

平成 29 年 3 月 3 日（金） 午後 2 時～4 時 30 分 三重県津庁舎 大会議室

自殺未遂支援者研修

「自殺未遂者支援に求められる知識とスキル」

講師 神奈川県相模原市 精神保健福祉課 山田素朋子 氏（精神保健福祉士）

平成 29 年 3 月 10 日（金） 午後 1 時 30 分～4 時 30 分 三重県津庁舎 大会議室

発行：三重県こころの健康センター

〒514-8567 津市桜橋 3-446-34 三重県津庁舎保健所棟 2 階

TEL: 059-223-5241(代) FAX: 059-223-5242

URL: <http://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROC/HP/>



サポートします！
こころの健康